

Birth Racing Project

スポーツランドSUGO



SomeRights

A2 TECHNICA

AOBA  
Driving Schoolverve.  
Planning Consulting Engineering.S5  
StarFive  
Motor Racing StoreR'S DESIGN  
MOTORSPORTS

MSLASH

M's Auto  
Mobile Service

IRVINE CO. LTD.

OFFICE  
SUPPORT

アーバースホール

RACING GEAR  
PRINT  
SERVICE

PLAT2

PROTEX

# 2019 SuperTaikyu Rd2

サーキット：スポーツランドSUGO

総エントリー台数：54台  
クラス：ST-TCR 参加台数：9台  
チーム名：Birth Racing Project  
ドライバー：Aドライバー・太田 祐弥  
Bドライバー・松本 武士  
Cドライバー・篠原 拓朗

4月25日  
練習走行 午後 30分×3本  
4月26日  
練習走行 午前：1時間30分  
午後：1時間30分  
4月27日 午前：フリー走行30分  
午後：予選 AB (15分間)  
C (20分間)  
4月28日 第2戦決勝 3時間 (101Laps)

予選結果：Aドライバー・1.40.719 (クラス3位)

Bドライバー・1.29.838 (クラス2位)

Cドライバー・1.34.786 (クラス1位)

AB合算：クラス1位

決勝結果：1位

## ～木曜日～ ハーフウェット→ドライ

30分×3

S1

決勝での天気予報が晴れ予報であったため、ハーフウェットでの走行は見送りました。

S2

計測1周。ユーズドでの確認をしました。

ツーリングカーでSUGOを走るのは初めてだったので、アウトラップでしっかり確認を行ってから計測に移りました。ユーズドではアクセルオフした時のフロントの沈み量が欲しい。フロントのダンパーを緩めて一瞬の動きを作り、それが良いかどうかを次のセッションで決めていくことにしました。

S3

ダンパーを緩めた所、アクセルオフで進入するところもよりフロントが初期で曲がっていくようになり、運転しやすくなりました。ただ、車をオーバーステアのセットに持っていつている状態からもっとタイムを出すためにはしっかりフロントを沈めてもっと早くアクセルを乗せないといけないのでドライ路面の時はしっかり頭に入れておくことが大事。

## ～金曜日～ レイン

S1レインでの走行でしたが、昨日のフロント荷重の意識を考え過ぎてしまいオーバーステアを強く作り過ぎてしまいました。レインの時はドライと逆でもっと早くフロントを荷重を抜いて落ち着かせて入っていかないといけない。レインとドライの切り替えをもっとしっかり行う。ツーリングカーへ車の動きが大きくもっと上手く車を動かせるようにならないといけない。

S2

ラインや走り方を変えたところ、車をきちんと動かせるようになり走りやすくなった。クラス違いの車両に引っかけアタックは出来ませんでした。レインコンディションで1本目よりしっかりと良い感覚を持って臨めるようになりました。



# 土曜日 予選 ハーフウェット

小雨が降り始めた中でスタートしました。

ガソリンを80L入れて決勝想定のマシンチェックもそのまま行う事が目的での予選でしたが、途中で雨が強くなり路面もハーフウェットに変わっていききました。

マシン確認のため走りきったところ路面も回復して来てクラストップで終わる事が出来ました。

セッションを走りきる事によって様々なコンディションで走りを試せて良かったです。

しかし、予選で残った課題としてはもっと早く路面の見極めを出来るようにならないといけません。



# 日曜日

## 決勝ドライ

ツーリングカーで初めてのスタート担当をしました。ポールスタートでしたが、ミスなくスタートを決める事が出来た部分は非常に良かったです。また、スタート直後にクラス違いの車両も抜く事が出来、同クラス2位以下との差も作る事が出来ました。

FCYのタイミングにより今回のドライブ時間は少なかったですが、初めての体験が多く今後のツーリングカーでのレースがより楽しみです。

自分のステイントは短く、苦しくなる部分はありませんでしたが、もっとハイペースで走ることが出来るようにもっと成長していきます。



# まとめ

Super耐久第2戦、ツーリングカーでの初優勝となりました。久しぶりの優勝はやはりとても嬉しいです。今回のレースウィークではドライ・ハーフウェット・レインと様々なコンディションを体験することが出来ました。結果的には優勝で終わったものの、テスト時にはまだまだ課題も沢山残っていたので次戦以降にしっかりと課題克服していきます。

また、今回はFCYの関係もありドライブ時間が短くなってしまったため、タイヤの良い状態での走行しか出来ませんでした。もっと苦しい状態になっても踏ん張れる術を身につけていきます。

今回も応援・サポートして下さった方々ありがとうございました。

また次戦・24時間レースで優勝のご報告をしたいと思えます。宜しくお願い致します。

